

# 肝硬変に使うお薬について

(非代償期を中心に)

県立加古川医療センター 薬剤部

# 今日のお話

- ① 肝機能改善剤
- ② 肝硬変（対症療法）に使う薬
- ③ 分岐鎖アミノ酸製剤(BCAA)の必要性



# ① 肝機能改善剤



# ウルソデオキシコール酸 (UDCA)



肝臓から作られる「胆汁（胆汁酸）」の  
一成分

- **作用**：胆汁分泌の促進、胆石を溶かす、  
肝機能の改善、コレステロール吸収抑制
- **副作用**：軟便、下痢、吐き気、胸やけ  
など

# グリチルリチン製剤



漢方生薬の甘草（かんぞう）：マメ科から抽出

- **商品名**：ヒシファージェン®（注射）  
グリチロン®（飲み薬） 等
- **作用**：抗炎症、免疫調節、肝細胞の保護
- **副作用**：食欲低下、胃の不快感、  
アルドステロン様作用  
(血液中のカリウム減少→浮腫・高血圧)

## ② 肝硬変（対症療法） に使う薬



# 浮腫（むくみ）・腹水（おなかに水がたまる）を減らす



## スピロノラクトン、フロセミド

- 尿量を増やして、水分を体の外へ排出する。
- スピロノラクトンで効果不十分な場合は、利尿効果がより強いフロセミドを併用する。
- 連用の場合、電解質（ナトリウムやカリウム）異常や脱水、腎機能悪化に注意し、定期的に検査は必要。



## サムスカ®

- 他の利尿薬で効果が不十分な場合に併用する。
- 急激な水分の排泄から脱水、高ナトリウム血症の副作用が現われるおそれがあるため、入院で使用を開始する。
- 血清ナトリウム値、血清カリウム値の上昇に注意が必要。



# アミノバクト、リーバクト<sup>®</sup>、 アミノレバン<sup>®</sup> EN（飲み薬）

- ※ 血液中のアルブミン濃度 3.5 g/dL以下の時
- ・ アルブミンの原料である **アミノ酸**の補給
- ・ 肝性脳症の治療にも有効

## アルブミン（点滴）

- ※（血液中のアルブミン濃度 2.5 g/dL以下の時）
- ・ アルブミンそのものの補給

### <アルブミンの働き>

- ① 脂肪酸、ホルモン、薬物など様々な物質を運搬する。
- ② 血管内に水分を取り込み、水分が血管の外へ漏れ出るのを防ぐ。

# 胃や食道の粘膜を保護する (静脈瘤の破裂防止)



ラベプラゾール、ファモチジン 等

- 胃酸やペプシン（消化酵素）の分泌を抑える。
- 胃酸の分泌を抑え、胃や食道の粘膜を保護することで、潰瘍を治療し、静脈瘤が破れるのを予防する。



# 肝性脳症って？

- 肝臓でアンモニアの代謝ができなくなると、脳に障害が起こり、睡眠障害から意識障害、さらに進むと昏睡の状態になります。
- 主な症状：食欲不振、吐き気、睡眠リズムの異常、傾眠（眠気が強い）
- 主な原因：体内のアンモニア上昇



# 体内のアンモニアを減らす

## →肝性脳症対策

▼  
ラクツロース（ピアーレ®）、  
ラクチトール（ポルトラック®）

- 乳酸菌を増やしてアンモニア産生菌の発育を抑える。
- 便を軟らかくする。乳酸菌により分解されて、その刺激で腸の運動がよくなる。
- 腸内でのアンモニア吸収を抑制する。
- 1日2～3回の軟便になるように用量を調節する。

便秘は絶対ダメ！

# カナマイシン、硫酸ポリミキシンB、 リフキシマ®

- 体内にほとんど吸収されない抗生物質
- 腸内細菌を減少させ、アンモニアの産生を抑制する。
- 副作用：便秘、下痢、腎障害・聴覚障害（カナマイシン）

# エルカルチン®

- カルニチンを補うことでアンモニアの産生を低下させ、肝性脳症を改善する。
  - 副作用：下痢、軟便、腹部膨満感
- 

# 肝性糖尿病（肝硬変からくる糖尿病）を治療する

- 肝性糖尿病では、食後に高血糖になりやすく、空腹時には逆に低血糖が見られる。

Q) 肝性糖尿病は、飲み薬で治療できないの？

A) 使いにくい

<理由>

- ・ 肝臓で代謝される薬も多く、肝臓に負担をかける。
- ・ むくみの副作用のある薬もあり、肝硬変の合併症を悪化させる。

# ③ 分岐鎖アミノ酸製剤 (BCAA) の必要性



# 分岐鎖アミノ酸 (BCAA) について

- BCAA : (Branched-chain amino acid)  
= バリン、ロイシン、イソロイシン
- 必須アミノ酸なので自分のからだでは作れません

## ※役割は？

- 筋肉でアンモニアを無毒化する
- 筋肉でエネルギー源になる
- 肝臓で蛋白を合成する材料になる

肝硬変では、BCAAの利用が高まり、  
BCAAが減ってしまう。



# ※製剤の種類

## BCAAのみの製剤



アミノバクト®



リーバクト®

## BCAAを含む製剤

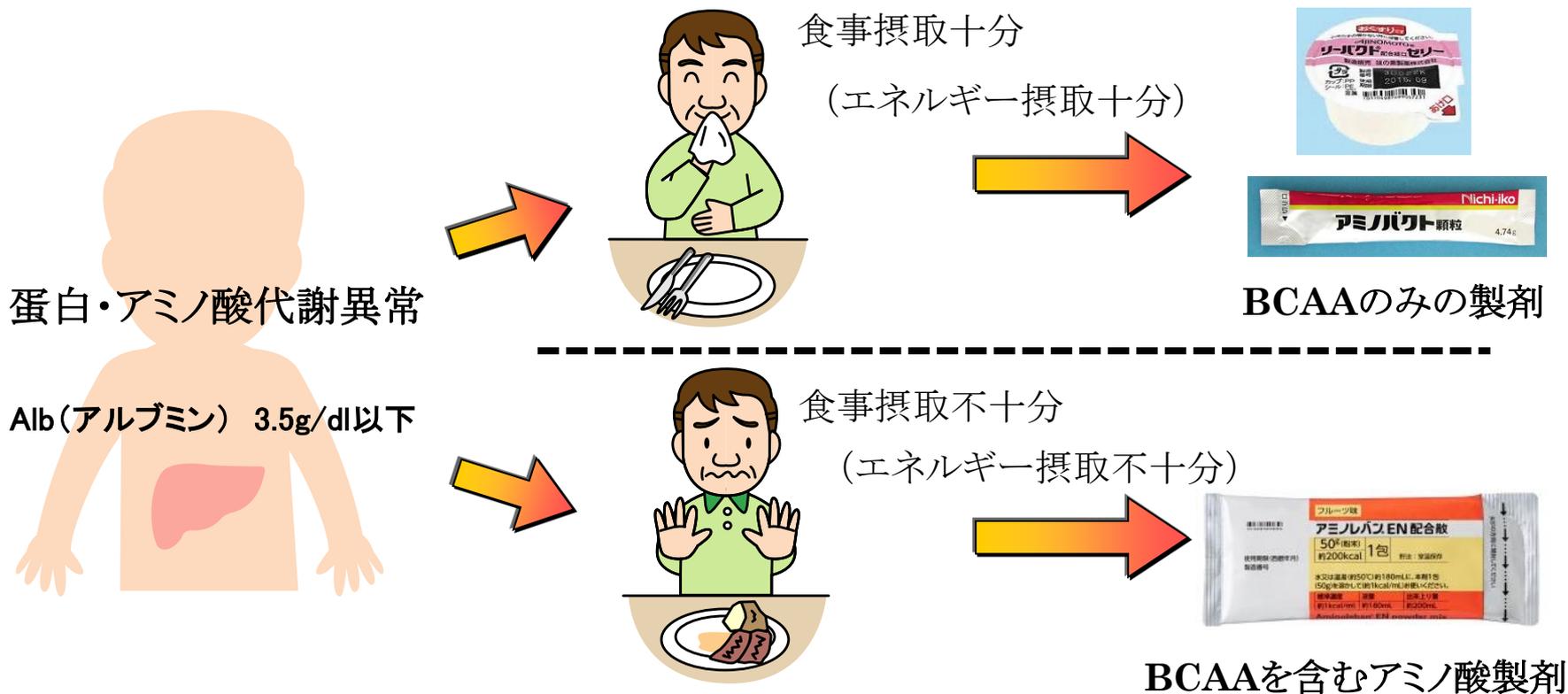


アミノレバン®EN

不足しやすい**蛋白・糖質・脂質・ミネラル・ビタミン**も含有

非代償性肝硬変患者さんの体内で不足している栄養を補うと共に、BCAAを補充して栄養代謝機能の改善を図ります。

## 分岐鎖アミノ酸(BCAA)経口剤の適応



食事の摂取量の減少や栄養バランスの偏りが無いかどうか、  
栄養士さんによる栄養摂取状態の把握が必要です。

# 肝臓の機能が悪くなると・・・

**肝臓に栄養を十分に貯えておくことができなくて  
エネルギーの供給不足（飢餓状態）になりがち**

特に、食事の間隔が長くなる夕食から朝食までの間は  
エネルギーが不足しがち



早朝に疲労感、こむら返り  
(足の筋肉がつって痛い)



**就寝前に消化のよい200kcal程度の夜食やBCAA製剤  
(アミノレバン1袋) を摂ることが症状を改善するといわれている**  
(ただし、1日に摂る総カロリー量が増えないように)



# 最後に

- お薬をきっちり服用することで、肝硬変の進行から現れてくる様々な症状を抑えることができます。
- 何か気になる症状があれば、我慢せずに主治医に必ず申し出てください。

